

2022.6月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

梅雨をふきとばし！

2022年も、はや半分が過ぎます。21日は夏至です。梅雨時季なので実感することは少ないですが、日は徐々に短くなっていきます。ラジオでパーソナリティーの人が、「いつも季節は律儀にすぎていきます」と話していました。本当にそうですね。

さて先月から始めた『チャレンジ再発見－思いのほかあなたを拓くアプローチ』、2回目の今月は「チャレンジの大・中・小」です。チャレンジの過程には大なり中なり小なりのチャレンジがありますね、というお話です。ただ、人によって価値基準・モノサシは違いますし、チャレンジにはおのずと、「タイミング・時機」も関連しますので、その点もふまえて、お話を進めるとします。

「女性チャレンジ応援拠点」(以下「拠点」)の利用者のみなさんの想いや状況は本当に様々、十人十色です。でも大まかに次の3つのパターンに分けられそうです。やりたいことがある程度決まっている(1)、まだ漠然としている(2)、はたまたすでにチャレンジに一步足を踏み入れたけど“こんなはずじゃなかった…”の状況にある(3)。

「チャレンジ」そのものについては、例えば、これまでの生活パターンやルーティンを一変させるものは大チャレンジ、大チャレンジを安定・発展させるものが中・小チャレンジ、はたまた大チャレンジをめざして積み重ねる小チャレンジ、と言えるのではないのでしょうか。

ある日「拠点」へ相談に来られた方が印象的でした。表情に少し憂いをふくんでいて、話をうかがって、頷きました。聞けばやりたいことはハッキリ決まっている。しかし、いざ本腰を入れようとすると、以前から応援してくれていたはずの家族から反対の声。落胆が大きくて、しばらく立ち直れなかった。ただ、なぜ反対か、じっくり話し合っ

てはいないとのこと。ご本人の想い・やりたいことは、自身だけでなく家族の生活環境も一変させるにちがいないものでした。家族のみなさんも現実問題にせまられて、当惑、困惑、そして不安が先立ち、拒否反応になったと推察します。しばらくショックだったようですが、なんとか気をとり直して「拠点」へ来られたご本人、ここからが〈自分を拓く〉契機、自分に合った方策を考えだし、トライできるはずです。なにせ、「絶対諦めたくはない」と言い切られました。

総合的に考えて〈中期戦〉の判断をされました。5年ほどすると、家族の状況も変わる。その時を見すえて、マネジメントの勉強もし、説得材料を用意するスキルも磨いて、家族も納得して応援してくれるような道すじをつくる。そう語るご本人の表情はちょっと吹っ切れたような、足どりも少し軽くなったような、そんな様子にみえました。

ご本人の中では、まずは一件落着。あとは実践あるのみにですが、遅かれ早かれ何かしら家族の理解と協力を得る働きかけが必要になってきます。さてどうしていきましょうか。それはまた来月考えるとして、「拠点」はみなさんそれぞれの想いがよりよく実践できるよう後押しするところです。スタッフ一同そう心がけ、努めています。なんといいても、〈話せる〉場です。みなさんのご利用をお待ちしております。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※ 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

